

【NEWS RELEASE】

2021年3月19日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

責任銀行原則への対応状況について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、当社グループを総称して「SMBCグループ」）は、責任銀行原則（PRB:Principles for Responsible Banking）への対応状況を公表します。

責任銀行原則の実施状況：

(URL) https://www.smfg.co.jp/sustainability/group_sustainability/structure/

国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）の提唱により発足した責任銀行原則は、持続可能な社会の実現に向け、SDGs やパリ協定などの社会の目標と整合した事業活動を銀行に促すもので、当社はその趣旨に賛同し 2019 年 9 月に署名しています。署名銀行は、自社の事業による環境や社会への影響を認識し、ポジティブな影響（「ポジティブインパクト」）の拡大やネガティブな負荷（「ネガティブインパクト」）の低減が求められます。

責任銀行原則への署名後、SMBC グループは 2020 年 4 月に「社会課題の解決を通じ、持続可能な社会の実現に貢献する」を経営理念に追加しました。加えて、持続可能な社会の実現を目指すうえでの当社グループの基本姿勢として「SMBC グループ サステナビリティ宣言」を策定し、それに基づく 2030 年までの計画として「SMBC Group GREEN×GLOBE 2030」を策定しました。

また、SMBC グループは、「環境」「コミュニティ」「次世代」を中長期的な重点課題に設定しています。とりわけ「環境」は社会の持続可能性の前提となる世代間共通の財産であるとの認識のもと、特に注力すべき課題であり、事業を通じて重大なインパクトを及ぼしうる分野であると考えています。

SMBC グループは、今後も責任ある金融機関としてのポジティブインパクトの創出とネガティブインパクトの低減を通じ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以 上